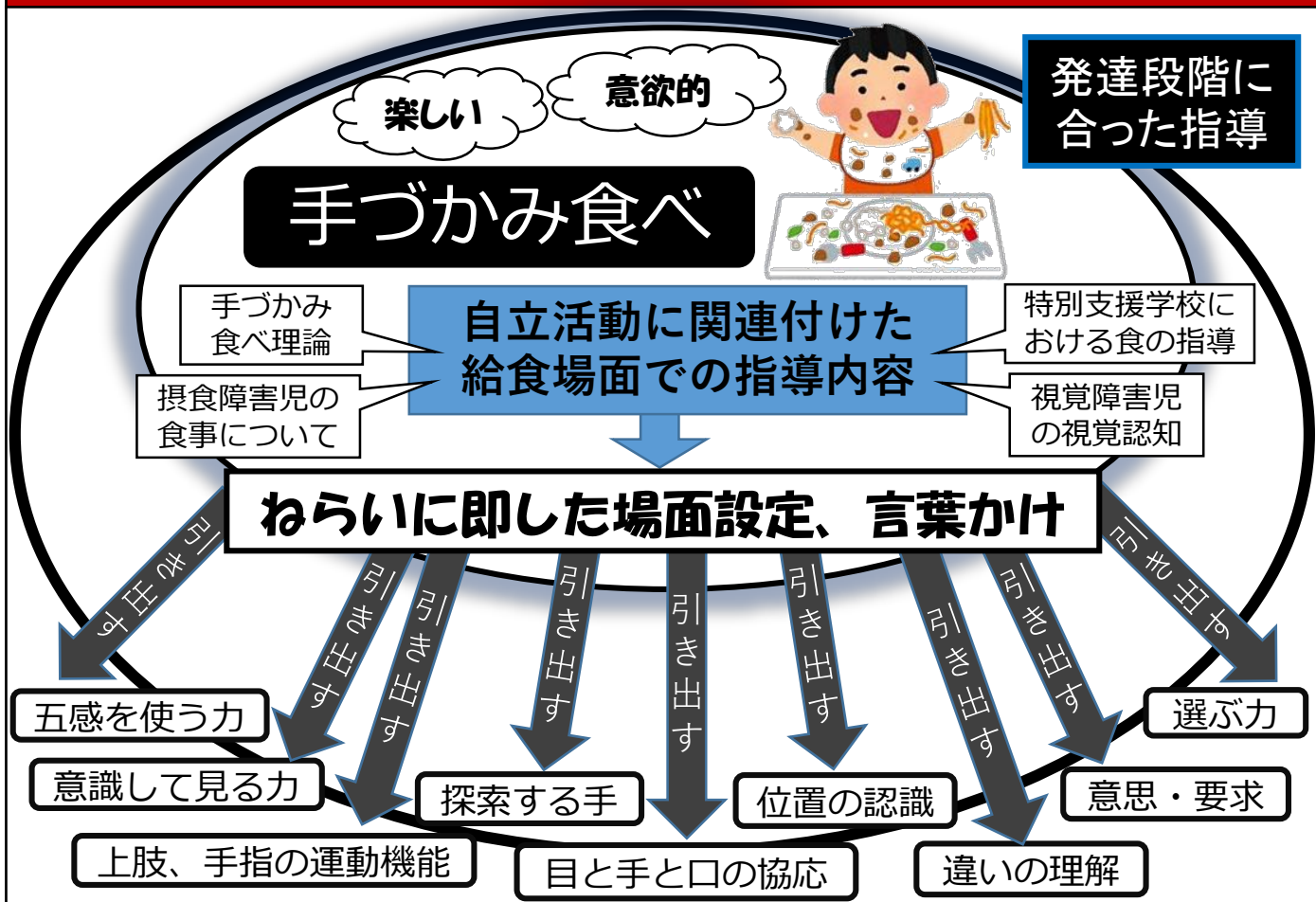


平成30年度	前期長期研修	校種・領域	肢体不自由・病弱教育
テーマ	重度・重複障害のある子どもの発達を促す指導の工夫		
サブテーマ	手づかみ食べによる給食指導を通して		
概要	肢体不自由、弱視、知的障害を有する小学部4年生の児童が、楽しく意欲的に取り組んでいる「手づかみ食べ」による給食指導を、自立活動の観点で捉えなおし指導することで引き出される様々な発達について研究を行った。		
キーワード	手づかみ食べ、楽しい、発達段階、肢体不自由、弱視、自立活動		

イメージ図



子どもが楽しんで取り組んでいる学習で、さらに発達を促す指導ができる！

成果

- ・ 本児が楽しく意欲的に取り組んでいる学習の中で主体性を育みながら、教師がねらいに即した場面を設定することで、様々な発達を促すことができた。
- ・ 手づかみ食べを自立活動の観点で捉えなおすことで指導内容が整理され、複数のねらいを総合的に指導することができた。
- ・ 手づかみ食べで引き出された意識して見る力、探索する手、選ぶ力などが、他の学習場面にも生かされてきた。